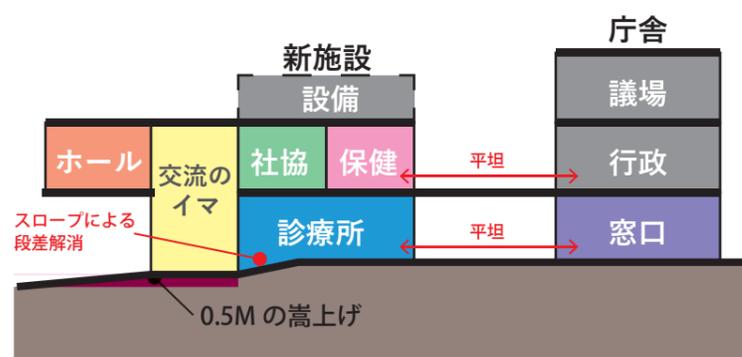
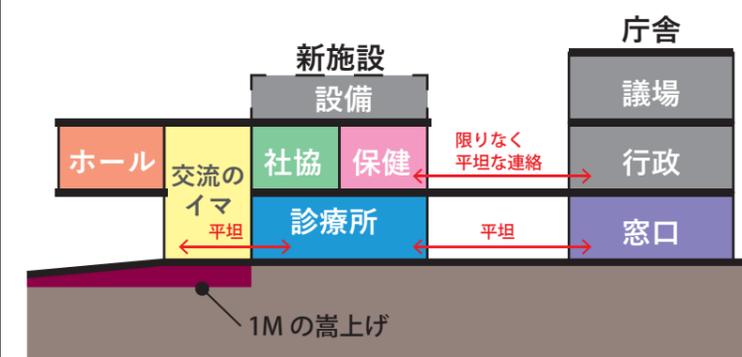


1階床レベルの設定に関する比較検討資料

2022/4/19 作成：CAn

プロポーザル提案は、造成工事を極力抑えながら日常における利便性と浸水リスクに対する対応を総合的に評価して提案を行った。

下表は「プロポーザル案」に加え、A案（新施設全体の床を庁舎と同じ高さで計画した案）と、B案（庁舎床+1Mの床高さとした案）を総合的に比較検討を行った表である。

評価項目		プロポーザル案（地形活用案）		A案（庁舎床高さに統一）		B案（庁舎床高さ+1M）	
浸水 リスク	1000年に1回程度	1F_南側（診療所） 現庁舎と同じ床レベルで計画したうえで、防水シャッターの設置により、想定される浸水リスクに対して備える計画。	1F_北側（交流のイマ） 浸水する可能性がある。	1F_南側（診療所） 現庁舎と同じ床レベルで計画したうえで、防水シャッターの設置により、想定される浸水リスクに対して備える計画。	1F_北側（交流のイマ） 浸水する可能性がある。	1F_南側（診療所） 現庁舎とより1M高い床レベルで計画したうえで、防水シャッターの設置により、想定される浸水リスクに対して備える計画。	1F_北側（交流のイマ） 浸水する可能性がある。
	100年に1回程度	1F_南側（診療所） 浸水リスク無し	1F_北側（交流のイマ） 浸水する可能性がある。	1F_全体共通 浸水リスク無し		1F_全体共通 浸水リスク無し	
	30年に1回程度	1F_全体共通 浸水リスク無し		1F_全体共通 浸水リスク無し		1F_全体共通 浸水リスク無し	
工期	基準値		基準値と同じ		当初+0.5月程度 (嵩上げによる地業工事等追加)		
コスト	嵩上げ等	基準値		560～800万程度の増額		2,000～4,500万程度の増額	
	止水シャッター	基準値 (通常建具と比べ2500万程度増額)		基準値と同じ (通常建具と比べ2500万程度増額)		基準値と同じ (通常建具と比べ2500万程度増額)	
	周辺整備への影響	基準値		基準値と同等程度		整備範囲の拡大によるコスト増 (庁舎北西道路の整備も付帯)	
利便性	<p>庁舎との連絡：1階、2階とも高低差なく往来できる計画。 施設内の移動：一部高低差が生じる。 駐車場からのアクセス：0.5Mの段差解消スロープ。</p> 		<p>庁舎との連絡：1階は高低差なし、2階はわずかな高低差。 施設内の移動：すべて平坦に連絡可能。 駐車場からのアクセス：0.6Mの段差解消スロープ。</p> 		<p>庁舎との連絡：1階、2階ともスロープが必要となる。 施設内の移動：すべて平坦に連絡可能。 駐車場からのアクセス：1.4Mの段差解消スロープ。</p> 